

(別紙4(2))

事業所名: グループホーム貝津

## 目標達成計画

作成日: 令和6年12月7日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害時の一時的な避難場所について職員全員が避難経路を明確に理解し避難場所に避難させることができる、また災害時に通信が遮断される恐れもあることを想定し、家族にも事前に避難経路、避難場所を周知しておく必要がある。	職員及ご家族が災害時の避難経路、避難場所を理解できるようにする。	文書にて左記の内容をご家族にお知らせする。また、施設内にも掲示し、職員全員の周知を図る。ハザードマップにも、当ホームの位置がわかるように書き込み避難経路・避難場所を明確にする。	3ヶ月
2	33	現在、当ホームでは看取りは行っていないが、看護師との連携も図れている為、今後、ご家族や本人が希望すれば、可能な限り対応していく必要がある。	看取りに関する勉強会を行い、知識を習得する。	看護師に依頼し、看取りの勉強会を行う。アドバンス・ケア・プランニング(ACP)への理解を深めるため、勉強会を行う。または、外部研修に参加する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。